

うーぐす ろくじぞう  
大楠の六地藏

鳥栖市重要文化財（石造建造物）

鳥栖市教育委員会



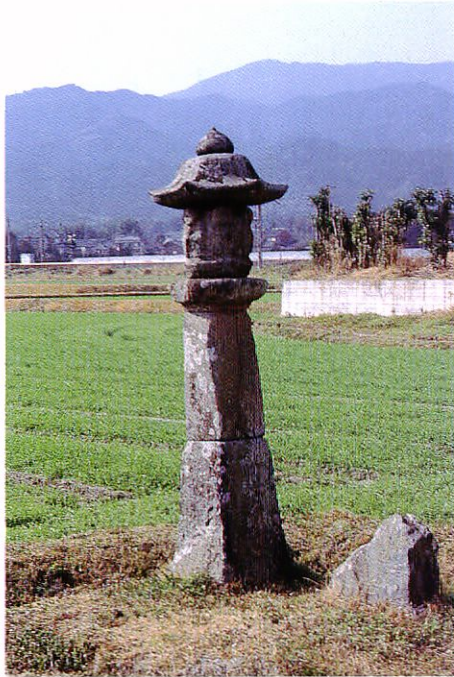
集落南の六地藏

道祖神（道路を行き交う人々を守る神）信仰と結びつき、集落の出入り口に六地藏を祀るという古くからの形式を残す大楠の六地藏は、蔵上の六地藏と同じく、塔身に背中合わせに6体の地藏像を彫りだしています。六地藏は、大楠集落の南三叉路と北側の旧畠中沿いにたっています。



集落北旧道沿いの六地藏

所在地	鳥栖市原古賀町大楠
管理者	大楠集落
指定年月日	平成11年9月14日



南の六地藏



北の六地藏

集落南入口の三叉路に建つ六地藏は、請座は円形で蓮弁は剣形に線刻されています。笠の部分は後世に補われたものです。竿石は二本継ぎで、上のものには紀年銘のほか銘文が刻まれています。正確に読み取るとは困難ですが、わずかに確認できる文字から永正2年(1505)あるいは天文2年(1513)の建造であると推定されます。

集落北側の旧道沿いに建つ六地藏は、二本継ぎの竿石で、笠の径は小さいが厚く屋根に六稜を出しています。請座には花卉状の切れ込みがありますが、蓮弁の刻みはありません。中台の蓮弁は複弁十六葉です。磨耗が激しく、製作された時期は明らかではありませんが、六地藏は2基一対が基本であり形状も近似していることから、同時期のものと考えられます。

現在市内では、蔵上町にある六地藏が市重要文化財として指定されていますが、そのほかにも下にのような六地藏が集落の出入り口などに点在しています。



国道3号線沿いの六地藏  
(酒井西町)



轟木町南入口の六地藏  
(轟木町三本黒木)



長崎街道沿いの六地藏  
(村田町)